

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 058	提案機関名 農業技術センター
要望問題名 神奈川県におけるチャトゲコナジラミおよびその天敵の発生活長の解明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 平成16年に、京都府で初めて発生が確認されたチャトゲコナジラミは、全国に分布を拡大している害虫であり、本県でも平成24年に発生が確認されている（平成24年度病害虫発生予察特殊報(第1号)）。これまでの他県等における研究成果から、この害虫の防除適期は若齢幼虫発生期であり、有望な天敵はシルベストリコバチであるとされている。しかし、本県におけるチャトゲコナジラミおよびシルベストリコバチの発生活長については明らかとなっていない。 本害虫の効果的な防除やその天敵を保護するため、本県におけるこれらの発生活長について解明をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 病害虫の診断同定および発生活態の解明に基づく予察・防除技術の確立		
対応の内容等	本県のチャトゲコナジラミの発生活長については、平成25年に県内産地で調査を実施し、平成26年以降は当所ほ場で継続調査をしています。一方、シルベストリコバチについては、本害虫の発生密度を抑制する天敵として認識されつつありますので、本天敵を生かした防除技術を確立するために、本天敵の発生活長等生態を解明する必要があります。今後、本天敵についても新たに調査を実施しますので、県内産地において予察事業を展開している病害虫防除部においても、本調査への協力をお願いします。		
解決予定年限	①1年以内    ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内    ④5～10年以内		
備考			